

雪のふるまちを… あざみの歌… 森の水車…

あの頃

みんなで聴いた。

一緒に歌った。

ラジオ歌謡

みんなで歌ってみませんか？



GO オペラ合唱団ファミリーイベント

「江古田でラジオ歌謡のうたごえを！」

場所: マザーグース イートインスペース『フェアリーテイルズ』

11月、3日(祝) 開催 (第29回目)

12:30～14:00 頃 (12:00 より受付)

参加費 1,300 円 (感染対策費 300 円含む)

スマホ・PC オンライン参加: 1,000 円 ※お振込確認後 URL 送付します。

創業 105 年、老舗パン屋さん マザーグース隣の
グランドピアノで、皆さんと一緒に歌いましょう！

☆多 歌詞カード、お貸出しします！

☆多 予約は要りません！到着順に受付致します。

☆多 歌うとお腹が空きますので、モグモグタイム！
美味しいパンのサービス付きです！

提供: (株) ゲイツオンホールディングス エンターテインメント事業部

協力: 工藤雄一 ラジオ歌謡研究会 代表理事・会長

マザーグース 江古田 創業 105 年 老舗パン屋

ラジオ歌謡とは

「健全な歌で、国民の音楽文化の啓発を」の目的で始められた番組。

「風はそよかぜ」でスタート、その後、「朝はどこから」、「三日月娘」、「あざみの歌」、「山小舎（やまごや）の灯（ともしび）」、「さくら貝の歌」、「森の水車」、「雪の降るまちを」など、現在も叙情歌として親しまれている作品が数多く発表された。

1953 年には当時 16 歳だった美空ひばりが登場し「あまんじゃくの歌」を歌っている。

< 講師 > 吉田拓人（指揮者、バスバリトン歌手）

練馬区光が丘出身。

都立青山高校を経て国立音楽大学を声楽で卒業、指揮者コースにて学ぶ。

オーケストラアンサンブル金沢指揮者講習会にて井上道義氏に学び、

優秀者コンサートに出演。30 作品を超えるオペラレパートリーを持ち、

首都圏近郊にて活躍中。また歌手としても活躍。

すみだオペラ合唱団指揮者、やまと国際オペラ協会会員、GO オペラ合唱団統括指導責任者。

ゲイツオンホールディングス エンターテインメント事業部属。

自由が丘のイタリア料理店 BABBO ANGELO で定期的にステージを重ねている。

ラジオ歌謡を歌い継いでいくー

戦後の日本を元気にしたもの、それは「歌」でした。

ラジオから聴こえてくる 800 曲あまりの歌を聴き、毎日の「活力」として、現代日本の礎となりました。

その**歴史的文化遗产**が、失われつつあるのは大変嘆かわしいことです。

秋田県に住むラジオ歌謡研究家**工藤雄一**さんにより蘇ったラジオ歌謡を、

皆さんと一緒に歌い継いでいきましょう！